

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)藤沢駅北口商業施設	階数	地上3階
建設地	藤沢市藤沢字東横須賀610番1 他	構造	S造
用途地域	商業地域	平均居住人員	4,120 人
気候区分		年間使用時間	4,928 時間/年
建物用途	物販店, 工場,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年3月 予定	評価の実施日	2015年3月20日
敷地面積	3,494 m <sup>2</sup>	作成者	(株)大建設計
建築面積	2,942 m <sup>2</sup>	確認日	2015年3月20日
延床面積	7,740 m <sup>2</sup>	確認者	(株)大建設計



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.3**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%  
②建築物の取組み 53%  
③上記+②以外の 53%  
④上記+ 53%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q 環境品質** Qのスコア = 3.0

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア = 3.5

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 設計上の配慮事項		
<b>総合</b>	省エネルギー対策における対費用効果を考慮し、商業施設としての基本性能を備えた建物とする。 来客者に対し、利便性の高い建物計画とする。	<b>その他</b> 0
<b>Q1 室内環境</b>	開口部を少なくし、ピロティ上部など外気に接する部分に断熱を施す。 喫煙室を整備。	<b>Q2 サービス性能</b> 売場面積に対しゆとりのある天井高さを確保。 高い階高とし、将来の対応性・更新性を高めている。
<b>LR1 エネルギー</b>	高効率の設備機器を採用。 外壁開口を少なくし、外気熱負荷を低減している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 主な内装材、内装副資材は有害物質を含有しないものを使用。
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 地区の景観方針に配慮した外観計画とする。
		<b>LR3 敷地外環境</b> オール電化であるため、燃焼系機械の使用は日常的にない。 十分な駐車台数を確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される